



STIR IT UP LUX

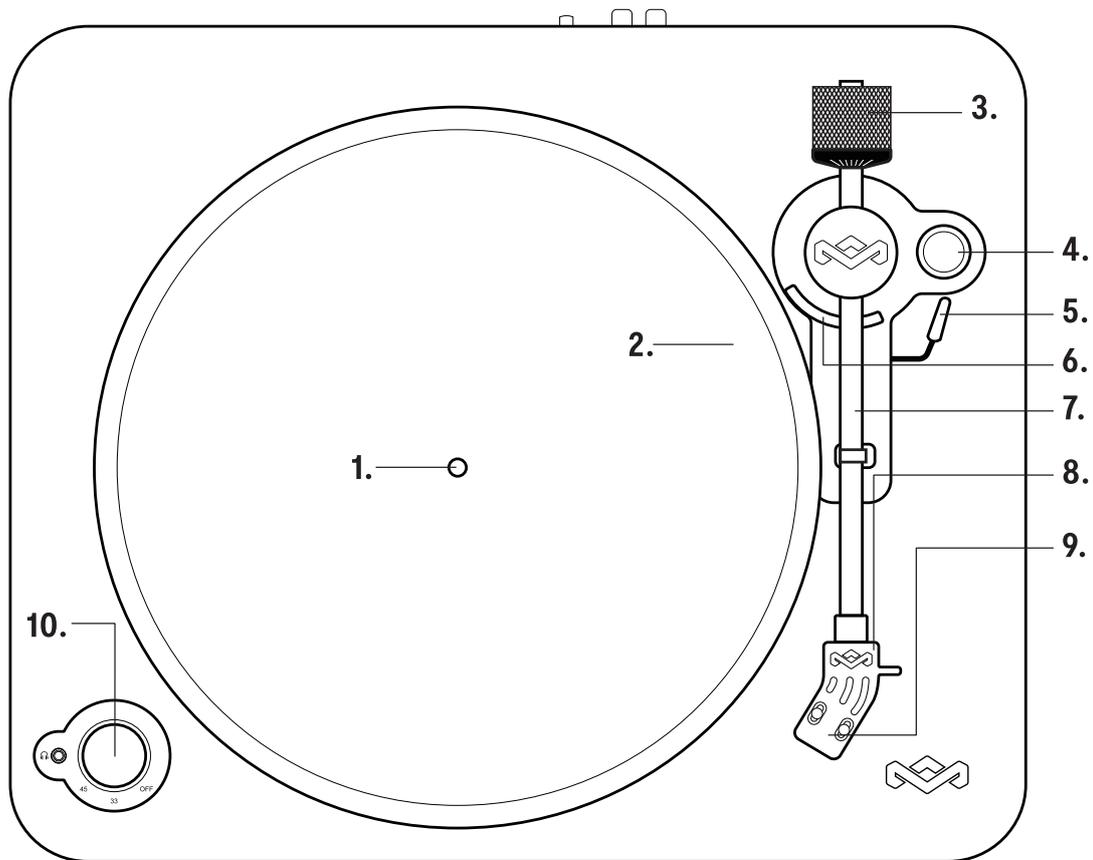
クイックスタートガイド



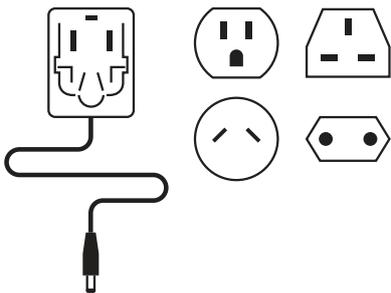
House of Marley
オフィシャルサイト

注意：ご使用前にクイックスタートガイドを必ずお読みください。

デバイスの構成



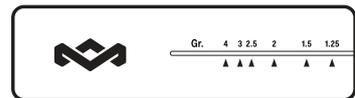
11.



12.



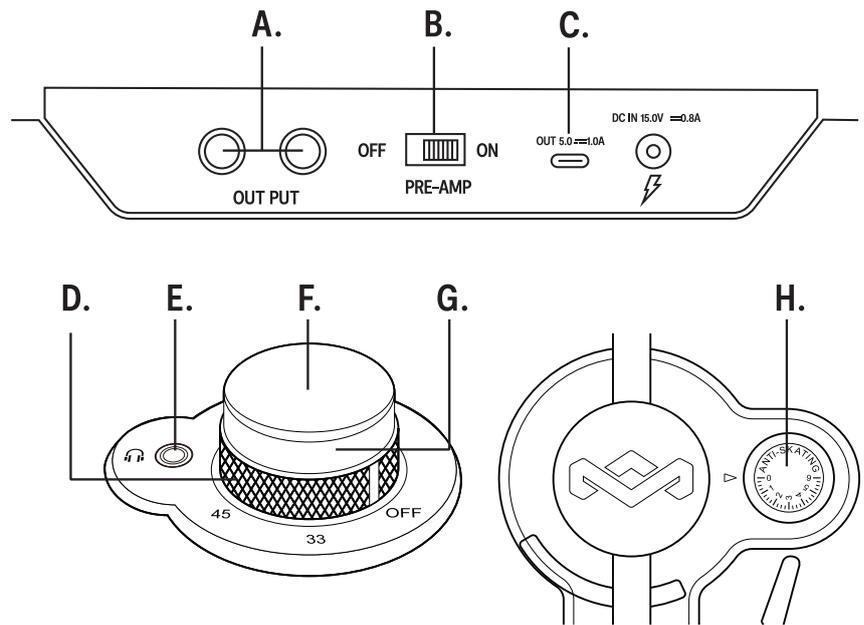
13.



- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. スピンドル | 8. スタイラス |
| 2. プラッター | 9. 針カバー |
| 3. バランスウェイト | 10. マルチファンクションボタン |
| 4. アンチスケーティング | 11. 電源アダプター |
| 5. トーンアームリフト | 12. 45 rpm アダプター |
| 6. トーンアームレストホルダー | 13. 針圧ゲージ |
| 7. トーンアーム | |

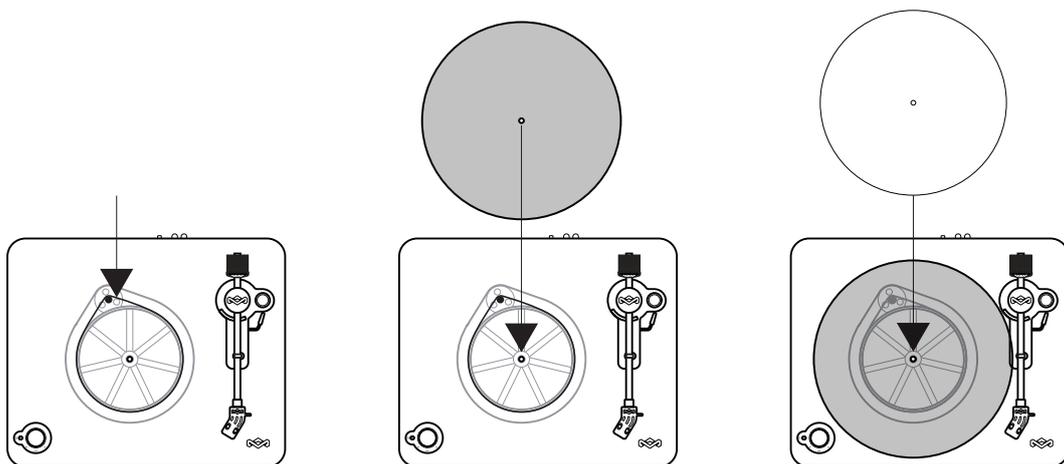
ファンクション

- A. RCA出力端子
- B. プリアンプスイッチ
- C. USB-C端子
- D. Off/33/45 切換
- E. ヘッドホン端子
- F. Bluetooth ボタン
- G. 音量ボタン
- H. アンチスケATING



ドライブベルトの取り付け

注: ドライブベルトはあらかじめ取り付けられています。ターンテーブルを開封したときに、サブプラッターとモーターの回りにベルトが見えない場合は、ベルトを付け直してください。

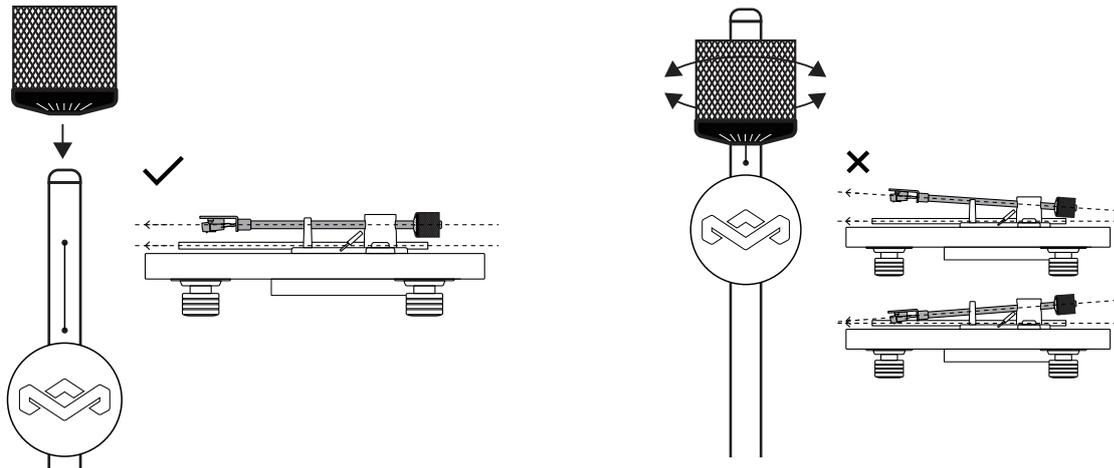


- ベルトを取り付けるには、ベルトをモーター (金色のスピンドル) にかけて、ベルトをしっかりと締めたまま、サブプラッターの周りにベルトを伸ばします。所定の位置に取り付けたら、ベルトが平らでねじれていないことを確認してください。
- 中央の穴に合わせて、ガラスのプラッターを黒いサブプラッターの上に置きます。
- スリップマットをガラスのプラッターの上に敷き、再び中央の穴の位置を合わせます。

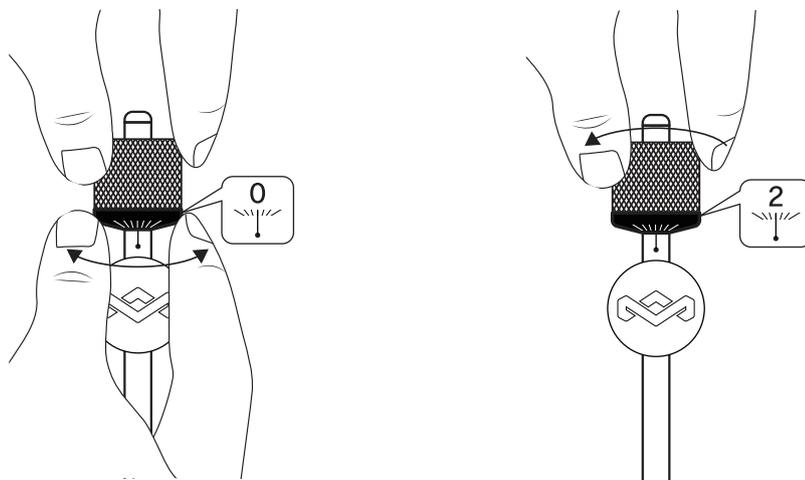
トーンアームのバランスをとる

オプション1 (針圧計を使わない場合):

- トーンアームのバランスウェイトをカチッとするまで押しこみます。
- トーンアームのバランスを取る前に、針のカバーを取り外してください。
- トーンアームのクリップを外し、トーンアームが浮いていることを確認します。
- トーンアームがプラッターと平行になるまで、バランスウェイトを前後回転させます。



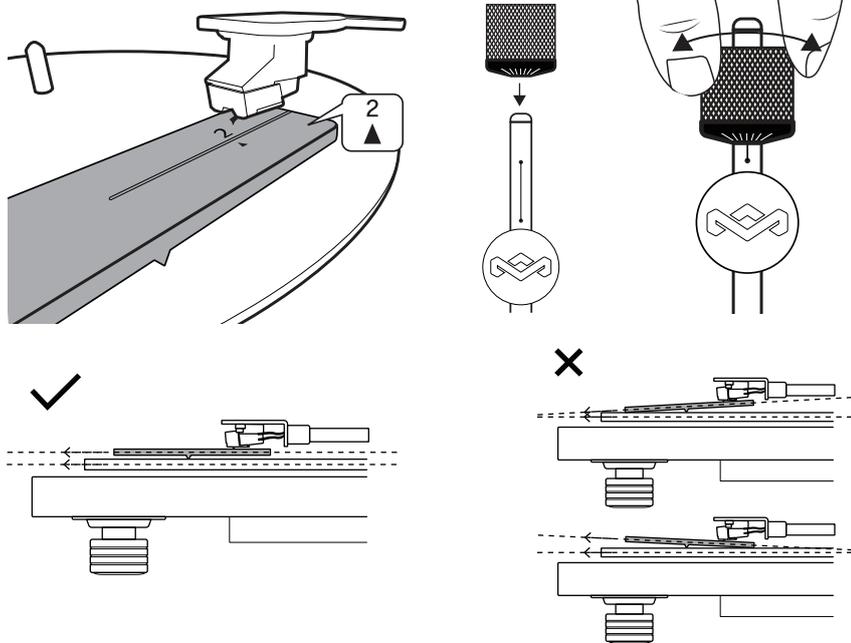
- トーンアームを元の位置に戻し、クリップで固定します。次に、バランスウェイトが動かないように持ち、もう一方の手でフロントダイヤルを0になるまで回します。これで、トーンアームがゼロに調整されます。
- スタイラスに正しい針圧をかけます。正しい針圧がかかるまでバランスウェイト全体を反時計回りに回転させます。
スタイラスの適正針圧 = 1.5g - 2.5g (2.0gが標準)



注: ターンテーブルを使用してレコードを再生しない場合は、スタイラスを保護するためにスタイラス針カバーを元に戻します。

オプション2 (針圧計を使用する場合):

- トーンアームのバランスウェイトをカチッとするまで押しこみます。
- トーンアームのバランスを取る前に、スタイラス針のカバーを取り外してください。
- トーンアームのクリップを外し、トーンアームが浮いていることを確認します。
- スリップマットを外して、針圧計をプラッターの上に置きます。
- スタイラスを2gのマーク (推奨の針圧) の位置に合わせます。
- 圧力計が水平になるまでバランスウェイトを前後に回転させます。
針が2gのマーク上にあることを確認してください。



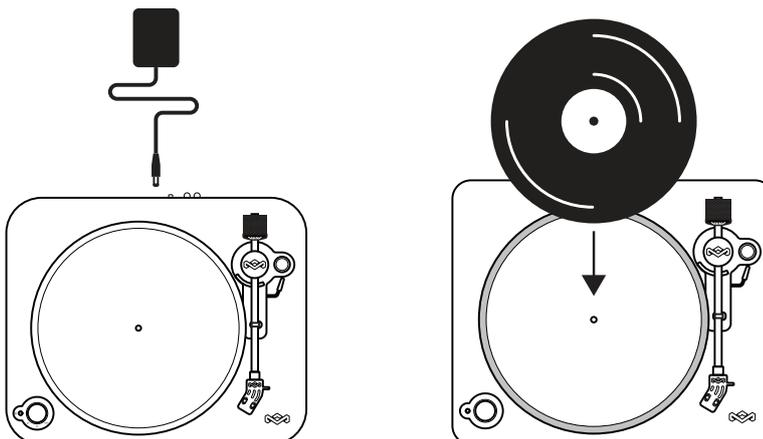
アンチスケーティング

アンチスケーティングは、トーンアームに小さな外向きの力を加えます。レコードがレコードの中心に近づくにつれて、アームがレコードの中心に向かって内側に移動する(滑る)傾向を打ち消します。

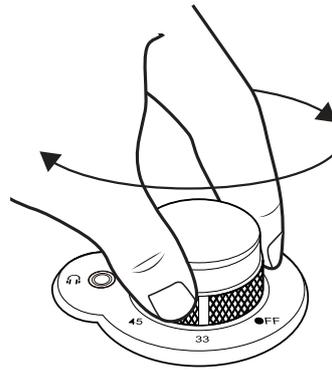
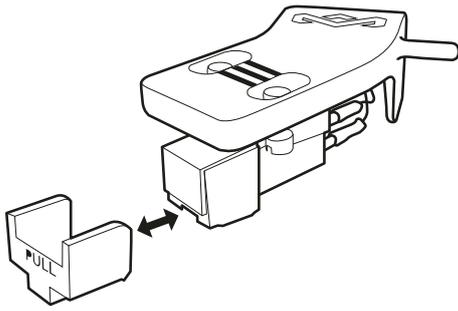
アンチスケーティングは設定した針圧と一致させる必要があります。したがって、Stir It Up Luxでは2に設定します。

レコードを再生する

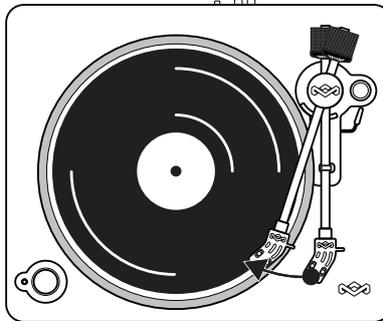
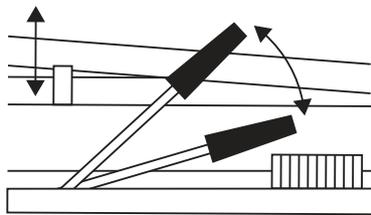
1. Stir It Up Lux を電源アダプターと壁のコンセントに接続し、コンセントのスイッチが入っていることを確認します。
2. ターンテーブルにレコードを載せます。



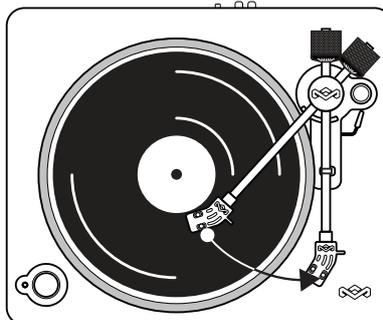
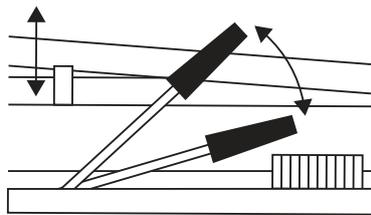
3. スタイラス針カバーが取り外されていることを確認します。
4. RPM ダイヤルを回して、レコードに適した速度に合わせます。45 / 33



5. Bluetooth 経由で再生したい場合は「Bluetooth ペアリング」セクションを参照してください。ヘッドホン出力経由で再生したい場合は、出力デバイスの接続方法に関するセクションを確認してください。
6. リフトレバーを使ってトーンアームを持ち上げ、トーンアームヘッドをレコードの端まで移動します。
7. トーンアームリフトレバーを下げてトーンアームを下げます。



注: トーンアームがプラッターの上に来ると、ターンテーブルのプラッターが自動的に回転します。



8. レコードが終了すると、ターンテーブルのプラッターが自動的に停止します。トーンアームを持ち上げてトーンアームレストに置きます。レコードのB面を聴くには、レコードを裏返し、上記の手順6から繰り返します。

注: レコードを聴き終えたら、スタイラスを保護するためにスタイラス針カバーが再び取り付けられていることを確認してください。

レコードの再生中にバランスウェイトやアンチスケートを調整しないでください。針が折れてレコードに傷が付く可能性があります。

ターンテーブルのプラッターを手で回そうとしないでください。

トーンアームを固定せずにターンテーブルを動かしたり、衝撃を与えたりすると、トーンアームが損傷する可能性があります。

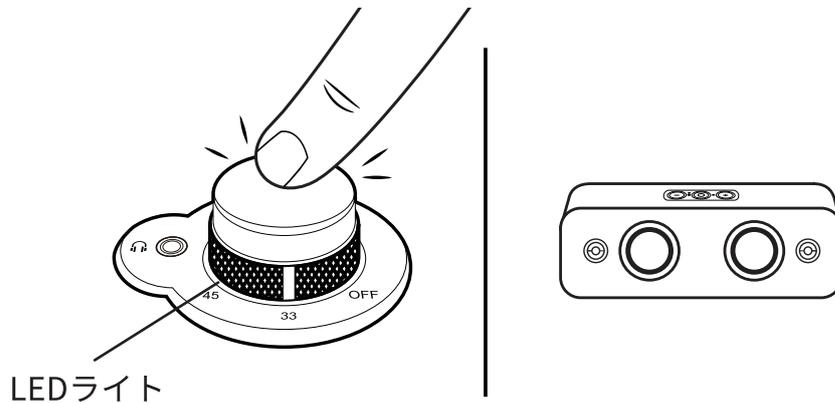
針を保護するため、輸送する際はトーンアームを固定してください。

ユニットの損傷や破損を防ぐため、輸送する際はバランスウェイトを取り外してください。

Bluetooth® ペアリング

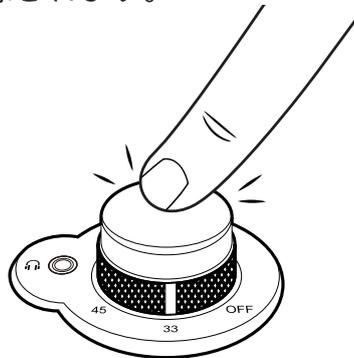
- ターンテーブルの BT 機能をオンにする前に、まず外部 Bluetooth®(以下BT) デバイスの電源をオンにします。
- ターンテーブル(MFB)のBTボタンを1回押すと、本機が Bluetooth® デバイスを検索します。BTインジケータが青色点灯したら、ペアリングが完了です。

注: ターンテーブルが30秒以内にBluetooth®デバイスとペアリングしない場合は、ターンテーブルのBluetooth®検索ボタンをもう一度押してください。



Bluetooth®ペアリングを解除する

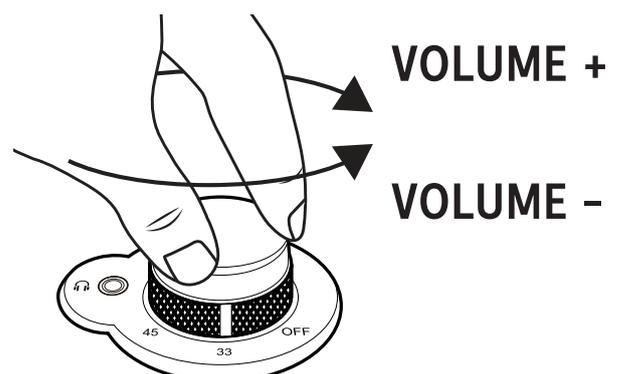
BTインジケータライトが消えるまで BT ボタンを長押しします。ターンテーブルは外部デバイスからペアリング解除されます。



- 青色の LED ライトが赤色に変わります。これは Bluetooth がオフになっていることを示しますが、ターンテーブルにはまだ電力が供給されています。

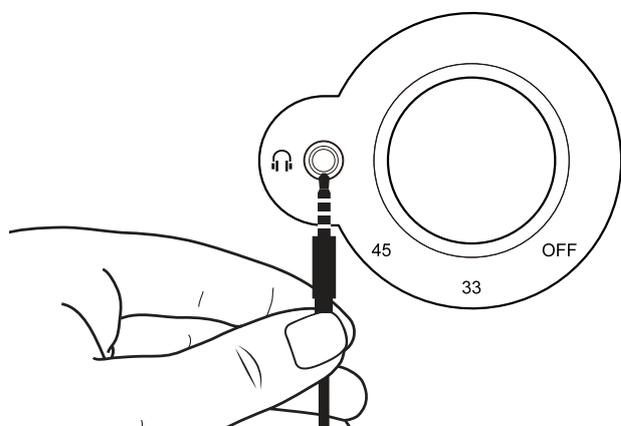
音量調節

音量を上げる: 音量ノブを時計回りに回します。
音量を下げる: 音量ノブを反時計回りに回します。



ヘッドホンの操作

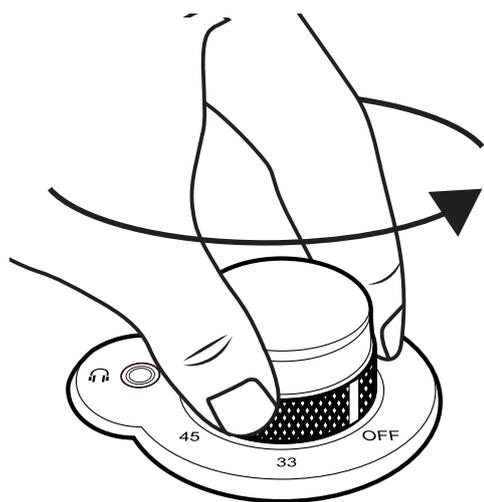
ヘッドホンジャックにヘッドホン (別売り) を接続します。



注: ヘッドホンのプラグを差し込むまでは、決してヘッドホンを装着しないでください。

Bluetooth®以外の接続セットアップ

ヘッドホンが接続されている場合、LED も赤色で点灯します。



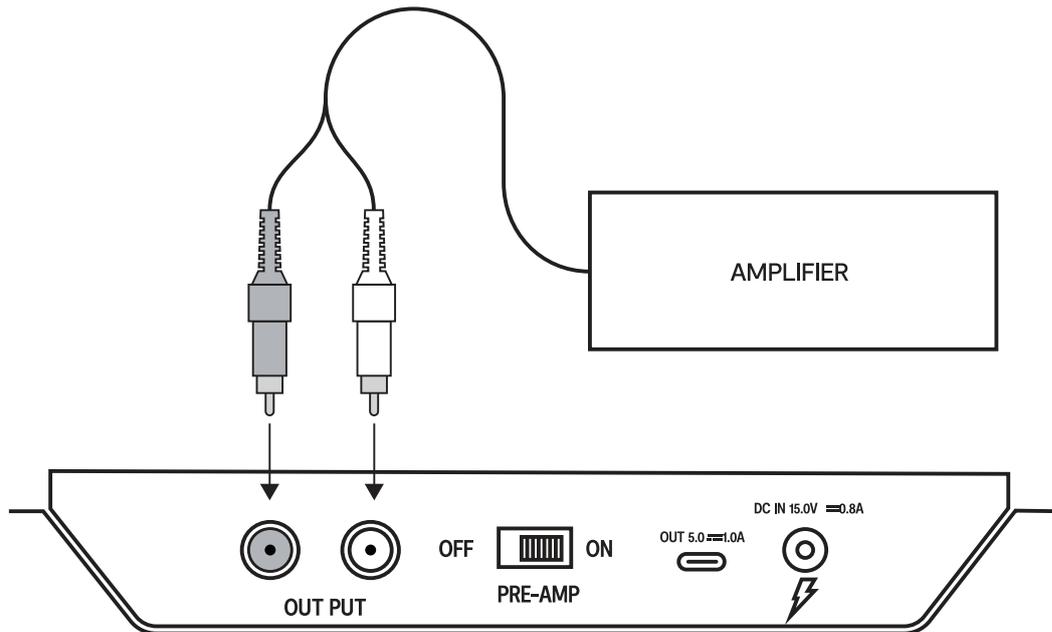
注意: 接続を行う前に、すべての機器の電源をオフにしてください。

このユニットで使用する各コンポーネントの説明をお読みください。

各プラグはしっかりと差し込んでください。ハムやノイズを防ぐため、信号相互接続ケーブルをAC電源コードと一緒に束ねないでください。

ラインアウト操作

1. プリアンプスイッチをON位置に切り替えます。
2. RCAケーブル(付属)の一端をユニット背面のLINE OUTソケットに差し込みます。
必ずソケットの色を合わせてください。
3. ケーブルのもう一方の端をアンプ機器のLINE INソケットに差し込みます。
4. 本機と接続したアンプ機器の電源を入れます。
5. アンプデバイスの音量を調整します。



USB-C出力ポート

USB-C出力ポートを使用して、デバイスを充電できます。
ここから House of MarleyスピーカーをACアダプターなしで充電することができます。